岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 64

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教 科	農業	科 目	農業機械	単位数	2	学年・学科	3学年・B科(選択)
教科書	実教出版「農業機械」	副教材					

学習目標	農業機械の取扱いと維持管理に必要な知識と技術を習得させ，機械の構造と作業上の特性を理解させるとともに，農業機械の効率的な利用を図る能力と態度を育てます。
学習方法	・農業機械の操作、点検と整備に関する実習を通して、農業機械の動作原理や構造と機能について理解を深めます。 ・乗用トラクタおよび各種作業機の作業上の特性と安全性について理解を深めます。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	農業機械の基本的特性を理解し、基礎的な知識を身につけ、農業の効率化の重要性を理解している。 乗用トラクタの基本運転及び走行ができる。
	b	思考・判断・表現	農業機械の利用及び農業の生産性の向上と農業機械化との相互関係について思考を深め、科学的に捉えて合理的、かつ組織としてコミュニケーションをはかりながら解決し創造する能力を身につけている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	農業機械の安全な取扱いについて関心を持ち、興味を持って、主体的に取り組ませるとともに、意欲的に解決しようとする実践的な態度を身につけている。

		重み付け	考査	考査外
		100%	50%	50%
前期中間	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	50%	50%
前期末	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	50%	50%
後期中間	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	50%	50%
後期末	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	第1章　農業機械の役割 1．農業機械の意義 2．農業機械の利用とその現状	・農業機械化の意義、農業機械の特徴、機械化と農業経営の関係、農業機械の利用とその現状について学習し、理解を深めます。	○	○	○	a:農業機械の意義と現状について理解している。 b:農業機械の意義と現状について表現できる。 c:農業機械について興味関心がある。	・確認テスト ・実習態度 ・実習レポート ・授業ノート ・定期考査
	第2章　原動機 1．電動機 2．内燃機関	・原動機について、電動機と内燃機関の種類や作動原理、構造や性能等について学習し、理解を深めます。	○	○	○	a:原動機について正しく理解している。 b:原動機の構造を理解し適切に表現できる。 c:原動機について興味関心がある	
前期末	第2章　原動機 2．内燃機関	・原動機について、電動機と内燃機関の種類や作動原理、構造や性能等について学習し、理解を深めます。	○	○	○	a:原動機について正しく理解している。 b:原動機の構造を理解し適切に表現できる。 c:原動機について興味関心がある	・確認テスト ・実習態度 ・実習レポート ・授業ノート ・定期考査
	第3章　トラクタ 1．乗用トラクタ 2．歩行用トラクタ	・乗用トラクタと歩行用トラクタについて、種類や基本運転や操作、構造や機能について学習し、理解を深めます。	○	○	○	a:乗用トラクタを正確に運転できる。 b:トラクタの構造を理解し適切に表現できる。 c:トラクタについて興味関心がある。	
後期中間	第4章　作業機 1．耕うん・整地用作業機 2．育成・管理用作業機 3．稲作用収穫・調整用機械 4．畑作用収穫・調整用機械 5．飼料作用収穫・調整用機械 6．運搬用作業機 7．環境調整用機械	・各作業機について、その作業体系と種類について学習し、理解を深めます。	○	○	○	a:各種作業機の農作業における役割について正しく理解している。 b:各種作業機の構造を理解し、適切な操作を行う技能を習得するために思考を深め、適切に表現できる。 c:各種作業機の仕組みについて興味・関心を持ち、構造や使用法の違いについて考えられる。	・確認テスト ・実習態度 ・実習レポート ・授業ノート ・定期考査
後期末	第5章　農業機械と安全 1．農業機械の整備と保守 2．農作業による事故と健康被害	・予防整備と故障修理の違いと必要性について理解を深めます。 ・農作業による事故の内容と関係する健康被害について理解を深めます。	○	○	○	a:農業機械の整備と保守の役割について理解している。 b:農業機械の整備と保守の方法やそれらに関する法規を理解し、農業機械による事故や健康被害について考えることができる。 c:農業機械の整備と保守のやそれに関する法規に、興味・関心を持ち、構造や使用法の違いについて考えられる。	・確認テスト ・実習態度 ・授業ノート ・定期考査
	第7章　農業機械による自動化 1．農業機械の高度化	・農作業工程の自動化の概要および仕組みについて学習します。	○	○	○	a:農業機械の自動化の方法を身につけ、高度化における展望理解できる。 b:農業機械の自動化について理解し、高度化について適切に表現できる。 c:農業機械の自動化や高度化に興味関心を持ち、最近の農業機械の利用について探求しようとしている。	